

# YAMAHA

## NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

# NS-2

## 取扱説明書 OWNER'S MANUAL

このたびは、ヤマハスピーカーシステムNS-2をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NS-2の性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。

Thank you for selecting this Yamaha NS-2 speaker system.

To ensure proper operation for the best possible performance, please read this manual carefully, and keep it in a safe place for future reference.

## 使用上のご注意

本機を最良の状態でお使いいただくため、下記の項目は必ずお守りください。



スピーカーシステムの許容入力以上の出力を持つアンプを使用される場合は、スピーカー保護のため、スピーカーにミュージック許容入力以上の過大入力が入らないようにご注意ください。



キャビネットやスピーカーユニットの変色・変形を防ぐため、直射日光や湿気の多い所での使用はできるだけ避けるようにしてください。



設置場所は、転倒などの事故が発生しないしっかりと安定した場所を選んでください。音質的にも効果的です。



キャビネットに水気及びアルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤などをかけたり、ビニール系の敷物類を乗せないようご注意ください。色ははげたり貼り付いたりします。お手入れは必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。



ご使用になるアンプによって出力端子が異なることがありますので、接続をまちがえないようアンプの取扱説明書で確認してください。



アンプのトーンコントロール(BASS, TREBLE等)やイコライザーを最大にして大出力でご使用になったり、特殊な信号(テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生音)を連続して加えることは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対におこなわないでください。



本機は、防磁型設計となっておりますが、万一台テレビの近くでご使用になり色ムラなどが生じるときや、テレビからのノイズを拾うときは、テレビとスピーカーの距離を離してご使用ください。



スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えたりしないようご注意ください。変形させたりしますと、音が歪むことがあります。



購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



この取扱説明書は、保証書と共に大切に保管してください。

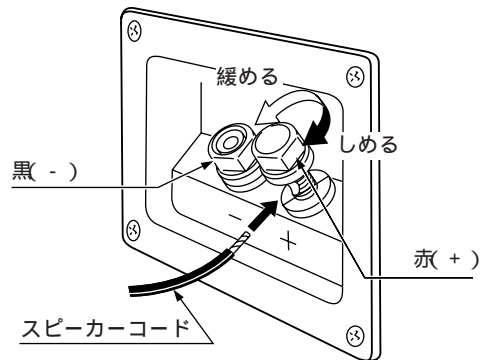
## アンプとの接続

接続する前に

スピーカーシステムとアンプを接続するときは、必ずアンプの電源を切ってからおこなってください。

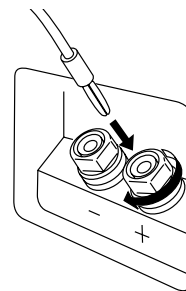
### 接続方法

1. 左チャンネルのスピーカーはアンプのスピーカー①端子に、右チャンネルのスピーカーはアンプのスピーカー②端子に、それぞれ極性( +、 - )を確認して接続します。左右のスピーカーの極性を間違えると、低音がそこなわれた不自然な再生音になってしまいます。
2. スピーカー背面のネジ式入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続します。  
スピーカーコードの先端の絶縁部を10mm位はがし、芯線がばらつかないようにしっかりとねじります。スピーカー端子のツマミを左(反時計回り方向)に回して緩め、下図のように端子穴にスピーカーコードの芯線部分を差し込みます。ツマミを右(時計回り方向)に回してしめつけます。



### バナナプラグの場合

バナナプラグを使用する場合は、端子を強くしめしてから差し込んでください。



## 音楽を楽しむエチケット



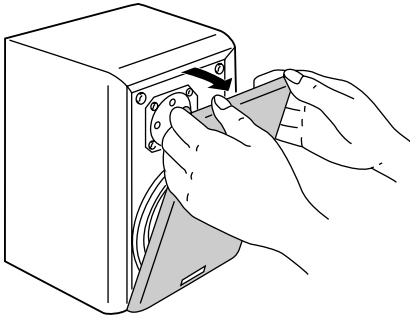
これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなでお楽しみもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

## フロントカバーの着脱

フロントカバーは取りはずすことができます。  
フロントカバーの着脱は次のようにおこなってください。

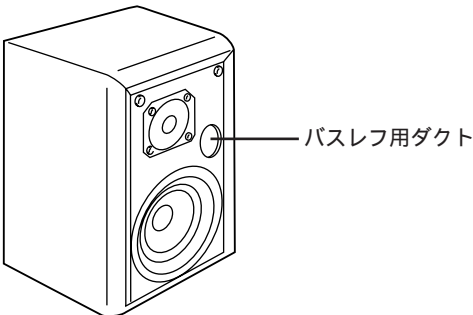
1. フロントカバーの上側を両方の手で持ち、手前に軽く引いてフロントカバーの上側をはずします。
2. 同じようにフロントカバーの下側を手前に軽く引くと、フロントカバーは本体からはずれません。
3. 取付けるときは、フロントカバーの四隅にある突起部と本体の四隅にある穴を合わせて、軽く押し込みます。



### ご注意

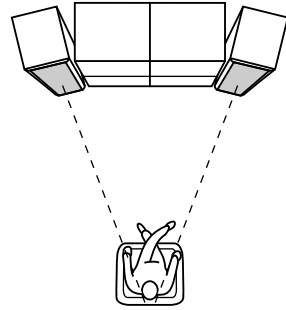
- フロントカバーの四隅以外を押さえないでください。スピーカーユニットを変形させるおそれがあります。
- フロントカバーをはずした状態では、特にスピーカーユニットに手を触れたり、無理な力が加わらないように注意してください。

本機にはバスレフ用ダクト(穴)があります。ダクトをふさいだり、中に物を入れたりしないようにしてください。不自然な音になったり、故障の原因になります。



## 設置について

- しっかりした固くて水平な面に置いてください。直接床に置いて低音域がこもったり量感が得られない場合は、床とスピーカーシステムとの間にブロックや厚めの木の板などを置いてください。
- スピーカーシステムを少し内側に向けると、音像の定位感がよりよくなる場合があります。



## 参考仕様

|                 |   |
|-----------------|---|
| タイプ             | 2ウェイバスレフ型、防磁型 (EIAJ)                                      |
| スピーカーユニット       | 13 cmコーン型ウーファー (JA1306) × 1<br>3 cmドーム型ツイーター (JA05P8) × 1 |
| 入力インピーダンス       | 6Ω  |
| 再生周波数帯域         | 60 Hz ~ 30 kHz ( - 10 dB)                                 |
| 許容入力            | 40W   |
| 最大許容入力          | 120W  |
| 出力音圧レベル         | 90 dB/W・m   |
| クロスオーバー周波数      | 4 kHz、6 dB/oct.   |
| 外形寸法 (幅×高さ×奥行き) | 190 mm × 312 mm × 211 mm                                  |
| 重量              | 4.3 kg  |
| 付属品             | スピーカーコード (4m) × 2   |

仕様および外観は予告なく変更されることがございます。

Descriptions on this page are available to customers who lives in Japan only.  
ヤマハホットラインサービスネットワークは、日本国内のみのお問い合わせ先です。

## ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。  
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- 保証期間  
お買い上げ日より1年間です。
- 保証期間中の修理は  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。  
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているときは  
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- 修理料金の仕組み  
技術料  
故障した製品を正常に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。  
部品代  
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。  
出張料  
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。  
別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 修理可能な範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- 補修用性能部品の最低保有期間は  
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 持ち込み修理のお願い  
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- 製品の状態は詳しく  
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。  
品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

### ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

|     |   |
|-----|---|
| 北海道 | 札幌市中央区南十条西1-1-50 〒064<br>ヤマハセンター内<br>TEL(011)513-5036         |
| 仙台  | 仙台市若林区卸町5-7 〒983<br>仙台卸商共同配送センター3F<br>TEL(022)236-0249        |
| 首都圏 | 川崎市中原区木月1184 〒211<br>TEL(044)434-3100                         |
| 東京  | (お持ち込み修理のみ取扱い)<br>東京都港区高輪2-17-11 〒108<br>TEL(03)5488-6625     |
| 浜松  | 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内<br>〒435<br>TEL(053)465-6711             |
| 名古屋 | 名古屋市中川区玉川町2-1-2 〒454<br>ヤマハ(株)名古屋流通センター3F<br>TEL(052)652-2230 |
| 大阪  | 吹田市新芦屋下1-16 〒565<br>ヤマハ(株)千里丘センター内<br>TEL(06)877-5262         |
| 広島  | 広島市安佐南区西原6-14-14 〒731-01<br>TEL(082)874-3787                  |
| 四国  | 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内<br>〒760<br>TEL(0878)22-3045              |
| 九州  | 福岡市博多区博多駅前2-11-4 〒812<br>TEL(092)472-2134                     |

### お客様ご相談センター

(ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口)

TEL (03)5488 - 5500

〒108 東京都港区高輪2丁目17-11

### ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

### AV機器事業部

営業部

TEL(053)460-3451

品質保証室

TEL(053)460-3405

# YAMAHA

住所および電話番号は変更になることがあります。

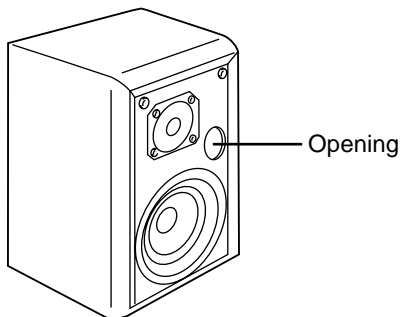
## PRECAUTIONS

Read these precautions carefully before operating your speaker.

- When using an amplifier with a rated output power higher than the music input of the speaker, care should be taken never to exceed the speaker's music input.
- Anytime you note distortion, reduce the volume control on your amplifier to a lower setting. Never allow your amplifier to be driven into "clipping".
- Do not place the speaker where it will be exposed to direct sunlight or excessive humidity to prevent it from being damaged.
- Do not attempt to clean the speaker with chemical solvents as this might damage the finish. To clean, wipe with a dry, soft cloth.
- Placing the speaker on the same shelf or rack as the turntable can result in feedback.
- Do not place the speaker where it is liable to be knocked over or struck by falling objects. Stable placement will also ensure better sound performance.
- **Secure placing or installing is the owner's responsibility.**  
**YAMAHA shall not be liable to any accident caused by an improper placing or installing of the speaker.**

This bass-reflex type speaker has an opening on the front panel.

Be careful not to obstruct the opening or put some objects into it. In doing so, the sound will be unnatural or it may cause damage to the speaker and/or amplifier.



## CONNECTION TO YOUR AMPLIFIER

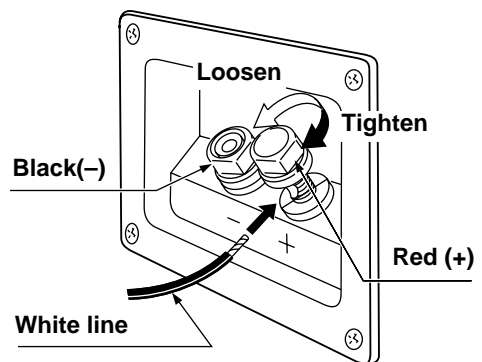
**BEFORE MAKING CONNECTIONS, MAKE SURE THAT THE AMPLIFIER IS SWITCHED OFF.**

### CONNECTIONS

- Connect the screw-type input terminals at the rear of the speaker to the speaker output terminals of your amplifier with the provided speaker cables.
- One side of the speaker cable is marked by a white line. Connect the (+) terminals on both the amplifier and the speakers using this white-marked side. Connect the (-) terminals on both components using the unmarked side of the cable. If connected with reversed polarity, the sound will be unnatural and lack bass.

Procedures:

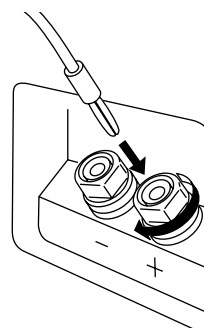
- ① Loosen the terminal knob.
- ② Insert the bare wire end properly into the terminal hole. [Remove approx. 10 mm (3/8") insulation from the speaker cable.]
- ③ Tighten the knob.
- ④ Test the security of the connection by tugging lightly on the cable at the terminal.



### Note

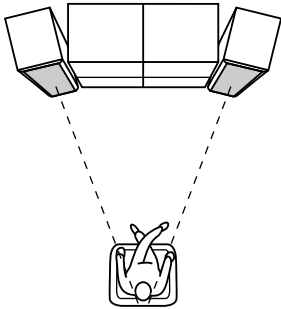
**Do not let the bare speaker wires touch each other as this could damage the speaker and/or the amplifier.**

- \* Banana Plug connections are also possible. First tighten the terminal knobs, and then insert the Banana Plug connector into the corresponding terminal hole.



## PLACING THE SPEAKER

- Place the speaker on a sturdy, vibration-free surface. If you cannot obtain good bass quality when the speaker is placed directly on the floor, insert a block etc. between the speaker and the floor.
- Better stereo images will be obtained when the speakers are slightly angled in towards the listener.



### Note

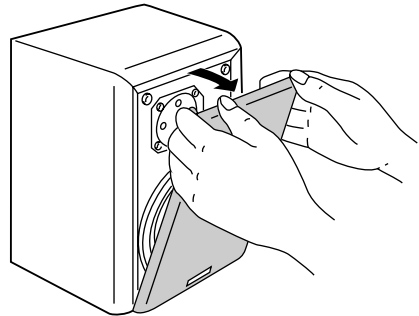
Though this speaker is a magnetic shielding type, there may be an influence on TV picture according to the type of TV or the placement of the speaker. In such a case, place the speaker apart from the TV so that there is no influence on TV picture.

## REMOVING THE FRONT COVER

The front cover is fastened to the enclosure at four points, and can be removed if desired. To remove the cover, hold on to both sides and slowly pull straight away from the speaker. To reattach, line up the four pegs on the inside surface of the cover with the four corresponding holes on the speaker and push gently.

### Note

When the cover is removed, take care not to touch the speaker units with your hands or to exert excessive force with tools.



## SPECIFICATIONS

|                           |  |
|---------------------------|--|
| Type .....                | 2-way bass-reflex speaker system<br>Magnetic-shielding type (EIAJ) |
| Speaker Unit .....        | 13 cm cone woofer (JA1306) x 1<br>3 cm dome tweeter (JA05P8) x 1   |
| Nominal Impedance .....   | 6 ohms   |
| Frequency Response .....  | 60 Hz – 30 kHz (–10 dB)  |
| Nominal Input Power ..... | 40W  |
| Maximum Input Power ..... | 120W   |
| Sensitivity .....         | 90 dB/w/m  |
| Crossover Frequency ..... | 4 kHz, 6 dB/oct.   |
| Dimensions (WxHxD) .....  | 190 x 312 x 211 mm<br>(7-1/2" x 12-5/16" x 8-5/16")                |
| Weight .....              | 4.3 kg (9 lbs. 8 oz.)  |
| Accessories .....         | Speaker cable (4m) x 2   |

\* Specifications subject to change without notice due to product improvements.

\* Care should be taken not to exceed the input power values noted above.